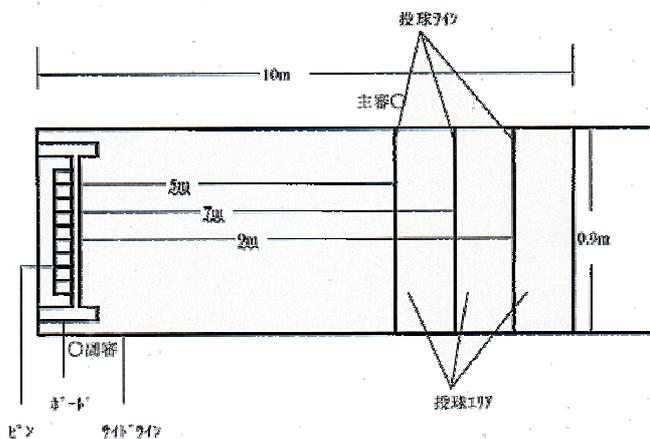


ビーンボウリング

どんなスポーツ？	ビーンボウリングは、ボウリングを、ピン配列を工夫し、横に並べ簡便化したものです。名の通り、ピンにボールが当たると豆がはじけるように、反転したり、自動的に元にもどるようになっています。コントロールやバランスを競うゲームで、体格や体力に関係なく、老若男女誰でも楽しめる軽スポーツです。
やる場所	屋内外
人数	シングルス：1対1 ダブルス：2対2 団体戦：5対5
1セットの内容	ピンセット1 マット1 ボール4
所有総数	2セット
運動の強度	弱い



↑ 1セットの内容



↑ コート図

ルール	①じゃんけんで先攻、後攻を決める。
	②プレーヤーは1フレームにつき2球ずつ投球する。
	③投球ラインからピンまでの距離は5m、7m、9mとする。それぞれの距離から3フレームずつ、合計9フレームを投球して1ゲームとする。
	④ボールを転がして9本のピンに当てる。反転したピンの点数が得点になる。ただし、反転後リバウンドし、元に戻ったピンは得点として数えない。

《勝敗》

全フレームが終わった時の合計得点が多いほうが勝ちとなる。

9本のピンのうち、中央の無表示のピンをストライクピンと呼ぶ。1投目で反転した場合は20点（ストライク）となる。2投目で反転すれば10点（スペア）になる。ストライクやスペアをとっても次のフレームには加算されない。

《反則》

- ・ 投球動作中に投球ラインを踏んだり、越えてしまう。
 - ・ 投球後に投球ラインを越えてしまう。(手がラインから出るのは良い)
 - ・ 投球中、手から離れたボールが投球エリア外に落ちた。(ライン上もファールになる)
- 以上の場合にはファールとなり、取得した得点は無効とし、次の人に番が回る。

《その他》

- ・ 9フレームの投球距離は全て同じにしても良い。
- ・ ボールは、決められた投球ラインとその1つ後ろの投球ラインの間(投球エリア)で投球動作し、投球する。

スコアカードの使い方・事例

★複数のピンが反転した場合は、反転したピン全てが得点となる。

ピン・ボウリング 投球距離	3 m			5 m			7 m			合計
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
使用ボール (赤) 1投目	2	▲	3	5	5	2	8	▲	5	100
2投目	3	2	▲	5	▲	0	—	0	0	
3投目	5	2	3	10	15	2	8	20	5	

★1投目で反転したピンはそのまま残し、2投目を投げる。



ストライク
20点



スペア
10点



ファールマーク